

しんろだより

No.11 令和7年11月21日発行
京都府立南山城支援学校
進路指導部

道具の使用・活用

活動や作業をしているとさまざまな道具を使用します。道具を使用するために必要な力は以下のようなものがあります。

①道具の使い方を知る

→道具があっても適切な使い方ができなければ効果を発揮できません。

②安全に道具を使うことができる

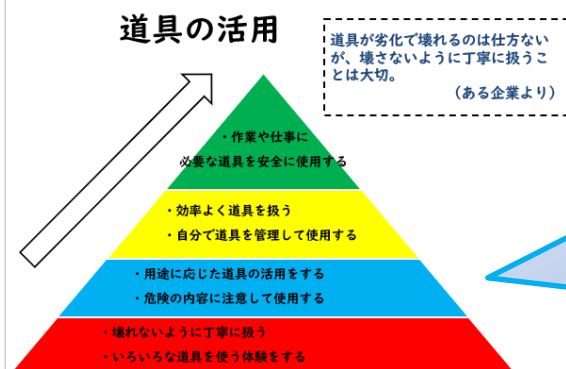
→道具は便利な反面、間違った使い方をしたり雑に扱ったりするとけがをしてしまいます。

③適切に管理をすることができる

→道具によっては繊細なものもあり、適切に保管しなければならないものもあります。

④使い分けができる

→用途が同じでも場面によって使い分けるものもあります（ハサミとカッターナイフ等）。



上記の内容をピラミッド型の表にまとめてみました。土台の部分を経験的な事柄とし、頂上に行くにつれて卒業後に必要な力になっていきます。



授業の中でも主に美術や作業学習でさまざまな道具を使用・活用します。危険な道具や使いにくい道具もありますが、大切なことはさまざまな道具に触れる・体験することです。「危険だから使わない」「難しいから使わない」ではなく、そのことも含めて学習として捉えることが大切です。そして、その経験をすることで、余暇が広がる可能性もありますし、ゆくゆくは卒業後の進路先で活躍することにもつながっていきます。